

(仮訳)

## 共同声明

(イエンス・ストルテンベルグNATO事務総長と岸田文雄日本国総理大臣の  
会談の機会に公表)

岸田文雄日本国総理大臣とイエンス・ストルテンベルグ北大西洋条約機構(NATO)事務総長は、2023年1月31日に東京で会談を行った。岸田総理による2022年のNATO首脳会合への日本の総理大臣として初めての歴史的な参加を基に、両首脳は、自由、民主主義、人権及び法の支配という共通の価値並びに戦略的利益を共有する、信頼できる必然のパートナーである日本とNATO間の協力の深化にコミットすることを再確認した。

### 歴史の転換期における困難な戦略的環境

国際社会は時代を画する変化に直面している。法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序は危機に晒されており、我々は、パワーバランスの変化と激化する地政学的競争を目の当たりにしている。世界は、歴史的な転換期において第二次世界大戦後最も厳しく複雑な安全保障環境のただ中にある。

ロシアによるウクライナ侵略は、平和を打ち砕き、ルールに基づく国際秩序の根幹を揺るがした。同侵略は欧州大西洋及びそれに留まらない地域の安全保障環境を大きく変化させた。インド太平洋地域におけるパワーバランスもまた急速に変化しており、我々は、力又は威圧による一方的な現状変更は世界のいかなる場所でも認められないとの認識を共有する。

我々は、欧州大西洋とインド太平洋の安全保障は密接に関連していることを認識し、変わりゆく戦略的環境に対応していくため、日NATO間の協力をさらに強化する必要性を強調する。日本はインド太平洋地域のパートナーとの対話や協力の強化に向けたNATOの決意を歓迎する。我々は、「自由で開かれたインド太平洋」(FOIP)の実現に向けた日本のビジョンを歓迎する。我々は、法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序を維持・強化する決意を再確認する。

### 国際社会が直面する複雑な戦略的課題

我々は、ロシアによるウクライナに対するいわれのない不当な侵略戦争を最も強い言葉で非難する。我々は、領海を含め国際的に認知された国境内でのウクライナの独立、主権、領土一体性への揺るぎない支持を再確認する。我々は、ロシアの無責任な核のレトリックは受け入れられず、また、ロシアによるいかなる

核兵器の使用も明白な国際的非難及び深刻な結果を被るであろうことを強調する。我々は、進行中のロシアの侵略戦争に直面する中で、我々の揺るぎないウクライナへの支持と連帯を再確認する。我々は、日本周辺における共同行動及び訓練を含め、ロシアによる中国との増大する軍事連携を懸念と共に強調する。

我々は、東シナ海における力又は威圧によるいかなる一方的な現状変更の試みにも強く反対する。我々は、南シナ海における軍事化、威圧及び威嚇の報告に関して深刻な懸念を表明する。中国の急速な軍事力の強化及び軍事活動の拡大に関して、我々は、中国に対し、透明性を向上させるとともに、軍備管理、軍縮及び不拡散の国際的な取組に建設的に協力するよう強く促す。我々の台湾に関する基本的な立場に変更はなく、我々は、国際社会の安全と繁栄に不可欠な要素である台湾海峡の平和と安定の重要性を強調する。我々は、兩岸問題の平和的解決を促す。

我々は、過去1年間の前例のない頻度と態様での弾道ミサイル発射を含む北朝鮮の進行中の核兵器及び弾道ミサイルの開発を強く非難するとともに、北朝鮮が、関連する全ての国連安保理決議を完全に遵守し、北朝鮮の核兵器及び既存の核計画並びにその他の大量破壊兵器及び弾道ミサイル計画を完全な、検証可能な、かつ、不可逆的な方法で廃棄することを強く求める。我々は、全ての国連加盟国に対し、関連する国連安保理決議を完全に履行するよう求める。さらに、我々は、北朝鮮による著しい人権侵害に対しても深刻な懸念を表明し、特に、北朝鮮に対し、拉致問題を即時に解決するよう強く求める。

### **新たな戦略的環境における日NATO協力**

日本は、インド太平洋の重要性に言及しているNATOの2022年戦略概念の採択を歓迎する。我々はまた、防衛力の抜本的強化やウクライナへの継続的な支援を含む日本の国家安全保障戦略の策定を歓迎する。加えて、我々は、現在の日NATO協力を新時代の挑戦を反映した新たな高みへと引き上げるため、日NATO間の新たな枠組み協力文書である国別適合パートナーシップ計画（ITPP）の策定に向けた進展を歓迎する。

我々は、海洋安全保障や軍備管理・軍縮・不拡散等の伝統的な安全保障課題への取組における日NATO協力の発展を歓迎する。加えて、厳しい国際安全保障環境と新たな安全保障課題を考慮して、我々は、新領域における新興の挑戦に対応する能力を強化するため、サイバー空間、宇宙、偽情報及び戦略的コミュニケーション、ハイブリッド課題への対策、強靱性、重要・新興技術、イノベーション

ン等の分野における協力の重要性を再確認する。さらに、我々は、NATO科学技術機構（STO）との協力を含む防衛科学技術等の分野への協力拡大を模索していく。

この日本とNATOの新たな協力は、サイバー空間、宇宙、最先端の科学技術、サプライチェーン等の新領域における新興の脅威に対処し、我々のハイブリッド脅威に対する強靭性を高めることを効果的に支援するものである。また、我々は、ジェンダーや人間の安全保障に関する協力を含め、我々の基本的価値を促進するための努力を強化する。

### **新時代における日NATO協力のアップグレード**

この文脈で、我々は、日NATO協力の進捗状況を把握し今後の方向性を検討するため、適切な枠組を活用して、日NATO協力の戦略的連携を強化している。

我々は、インド太平洋地域のパートナーとの象徴的な協力としての2022年の日米共同統合演習（キーン・ソード23）へのNATOのオブザーバー参加及びそうした協力のさらなる拡大を歓迎する。我々は、日NATO間の情報共有を強化するための取組を加速している。加えて、我々は、日本による北大西洋理事会（NAC）及びNATO参謀長会議への定期的な参加の意向を歓迎する。

我々は、この厳しく複雑化する安全保障環境の下で、日NATO協力がその価値を示すことになると確信する。我々は、強固なパートナーシップを通じて、法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序の維持及び強化に貢献していく決意である。